

碑文

昭和十八年十二月京都桃山の屯營に於て動員完結九一四名の精銳は風雲急なる南方への壯途についた ビルマ到着直ちにインパールミツチナ沿線の作戦に参加其の後北部中部ビルマの各地に勇戦奮闘工兵の本領を發揮して輝しい戦歴を残した 然しながら雨季の泥濘と乾季の灼熱に加え 悪疫瘴癘の戦場に於て長期激戦の為六百二十余名の戦友が護国の神と化した 復員二十五年目の今日生存者相集い 往時を偲び異郷ビルマに神鎮まる戦友の靈を慰め武勲を永く伝えるためこの碑を建て 併せて祖國の隆昌と平和を心から祈念する